



TITLE:

# 『科学哲学科学史研究』投稿規程 ・編集委員会・表紙

AUTHOR(S):

---

CITATION:

『科学哲学科学史研究』投稿規程・編集委員会・表紙. 科学哲学科学史研究 2011, 5: 149-151

ISSUE DATE:

2011-02-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/137414>

RIGHT:

## 『科学哲学科学史研究』投稿規定

### 1. 投稿資格

1. 京都大学大学院に所属し、科学哲学・科学史を専門とする者。
2. 過去に (1) の条件を満たした者。
3. その他、編集委員会が適当と認めた者。

### 2. 投稿原稿の種類

1. 論文 (20,000 字以内): オリジナルな論点を含む論文。
2. サーベイ論文 (20,000 字以内): 特定分野での研究紹介を目的とする論文。
3. 研究ノート (10,000 字以内): オリジナルな着想について細部の詰めは残るものの、広く討論に付し、コメントを求める事を目的として書かれる論文。
4. 書評 (4,000 字以内): 当該分野にとって重要な意義を持つ著作を紹介するもの。書評の対象となる書籍は、原則洋書は刊行後 5 年以内、和書は 3 年以内とします。
5. 翻訳と翻刻・校訂 (解説を含めて 20,000 字程度): 重要な意義を持つ著作・論文などの翻訳と翻刻・校訂 (著作権・翻訳権には十分に留意してください)。

\* 図表や数式については、そのスペース分相当の大まかな字数を含めて計算してください。詳細は、お送りするテンプレートとサンプルを参照してください。

### 3. 掲載までの流れ

1. 投稿の申込について: 7 月末日までに、論文・サーベイ論文・研究ノートの場合には題目に 800 字程度の概要を添えて、書評は予定の著作名を挙げて申し込んでください。翻訳と翻刻・校訂は予定の著作・論文等の表題に 400 字程度の概要と、著作権・翻訳権の説明を添えて申し込んでください。必ず所属とメールアドレスを付けてください。後日  $\text{\LaTeX}$  のテンプレートを事務局からお送りいたします。
2. 原稿の提出について: 論文は 9 月末日までに、他のものは 10 月末日までに完成した原稿を、編集事務局にメールで提出してください。論文の場合は 200 語以内の英文要旨も添えて提出してください (サーベイ論文、研究ノート、書評、

翻訳と翻刻・校訂の場合、要旨は不要)期限を過ぎた原稿は受理しませんので、ご注意ください。論文受理通知が三日以内に届かない場合は、お手数ですが再度送信をお願いします。

3. 審査について：すべての原稿について、編集委員が掲載の可否を判断します。特に論文の場合、ブラインドレフェリー制による査読を行います。掲載の可否は査読が終わり次第、(掲載が決定した論文の場合、論文掲載決定通知書と合わせて)メールでお知らせします。
4. 原稿の修正について：事務局が指定した期日までに、著者は修正済み原稿を再度事務局へ送付してください。

#### 4. 執筆形式

1. 論文のファイルは原則  $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$  を用いて作成してください。テンプレートは事務局が用意します。
2. 論文については、ブラインドレフェリー制による査読を行うため、本文中で著者を特定できるような表現(「拙論」など)を避けてください。
3. 参考文献表の形式は事務局が用意するテンプレートにしたがってください。
4. 和文の句読点は全角コンマ、ピリオドに統一してください。
5. 本文中のアルファベット、アラビア数字は半角にしてください。
6. 注は、後注ではなく脚注にしてください。

#### 5. 抜き刷りについて

1. 抜き刷りは別途有料です。

#### 6. 京都大学学術情報リポジトリへの公開について

1. 本誌に掲載された論文などはすべて、京都大学学術情報リポジトリへ登録し、公開いたします。詳しくは<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>をご参照ください。

#### 7. 編集委員会・事務局

1. 編集委員会は、編集委員長、数名の編集委員から構成されます。

- 
2. 編集事務局は、京都大学大学院文学研究科現代文化学専攻科学哲学科学史専修に所属する院生から構成されます。

## 8. 連絡先

606-8501

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科現代文化学系共同研究室内

『科学哲学科学史研究』編集事務局

E-mail: [katetsushi@gmail.com](mailto:katetsushi@gmail.com)

## 編集委員会

---

### 編集委員：

伊藤和行（京都大学）  
伊勢田哲治（京都大学）  
澤井直（順天堂大学）  
瀬戸口明久（大阪市立大学）  
出口康夫（京都大学）  
中山康雄（大阪大学）  
松王政浩（北海道大学）  
松本俊吉（東海大学）

### 編集事務局：

606-8501  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科現代文化学系共同研究室内  
E-mail: katetsushi@gmail.com

---

### 『科学哲学科学史研究』 第5号（2011年）

2011年2月28日 印刷

2011年2月28日 発行

編集・発行 京都大学文学部科学哲学科学史研究室

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail: katetsushi@gmail.com

印刷所 株式会社国際印刷出版研究所

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3丁目11-34

---

# 科学哲学科学史研究

## 第 5 号

### 一般論文

- 網谷祐一 「連続と離散」の対立はどのような意味で種問題の存続の原因か ----- 1
- 小野田波里 慣性の相対性とマッハ原理  
——一般相対性理論の形成過程をめぐって—— ----- 21

### サーベイ論文

- 中尾央 文化の系譜—文化系統学の（再）興隆— ----- 51
- 鈴木真奈 意味論的パラドックスの最小不動点モデルに対する  
T. モードリンによる擁護 ----- 71

### 研究ノート

- 稲葉肇 アンサンブル概念の起源をめぐって—ヘルムホルツからボルツマンへ— 85
- 橋本秀和 W. トムソン&テイ特『自然哲学論』  
—「ラグランジュの解析力学」から「現代的な解析力学」へ— ----- 97

### 書評

- Thomas J. Misa (ed). *Gender codes: Why women are leaving computing* (杉本舞) ----- 111
- Sandra D. Mitchell. *Unsimple truths: Science, complexity, and policy* (中尾央) ----- 117
- Anjan Chakravartty. *Metaphysics for scientific realism:*  
*Knowing the unobservable* (大西勇喜謙) ----- 123

### 翻訳

- J・L・ラグランジュ『解析力学』(抄) —釣りあいと運動の一般公式— (有賀暢迪) 127

2011 年

京都大学文学部科学哲学科学史研究室

# PHS Studies

## No. 5 (2011)

---

### Regular Articles

- Yuichi AMITANI: How does the gap between the essentialistic nature of  
the species concept and the vague boundaries of species cause the species problem? ----- 1
- Hari ONODA: The relativity of inertia and Mach's principle:  
An analysis of the process of forming the general theory of relativity ----- 21

### Survey Articles

- Hisashi NAKAO: Genealogy of culture: The (re)rise of cultural phylogenetics ----- 51
- Mana SUZUKI: T. Maudlin's defense of the interpretations of  
the minimal fixed point model for semantic paradoxes ----- 71

### Research Notes

- Hajime INABA: On the origin of the concept of ensemble: From Helmholtz to Boltzmann ---- 85
- Hidekazu HASHIMOTO: Thomson & Tait *Treatise on natural philosophy*:  
From Lagrange's analytical mechanics to modern analytical mechanics ----- 97

### Book Reviews

- Thomas J. Misa (ed). *Gender codes: Why women are leaving computing* (Mai SUGIMOTO) --- 111
- Sandra D. Mitchell. *Unsimple truths: Science, complexity, and policy* (Hisashi NAKAO) ----- 117
- Anjan Chakravartty. *Metaphysics for scientific realism*:  
*Knowing the unobservable* (Yukinori ONISHI) ----- 123

### Translations

- J. L. Lagrange: *Mechanique analytique* (part): General formulas for equilibrium and motion (Translated  
by Nobumichi ARIGA) ----- 127

---

Department of Philosophy and History of Science  
Faculty of Letters, Kyoto University